

トーキングロード  
嘶家人生 山あり、谷あり

〔第68回〕

## 初めての富士山登り

✦ 文 林家希林

text by Kirin Hayashiya ✦

先日初めて富士山に登ってきました。と言っても頂上までは行かずに6合目まで。

なぜ行ったかと言いますと、ツイキャスという配信アプリで活躍中の配信者である石川典行さんが、誕生日の富士登山配信をやるということで顔を出すためです。

石川典行さん知らない方に簡単に説明すると、YouTubeバーなどが映像を作る前から生放送という枠で活躍し、今や生配信をすれば同時視聴者数は1万人ぐらいになる有名配信者。

この石川さんとはひょんなことで知り合い仲良くさせていたでいるので、サプライズで富士山に突撃しました。

朝5時に自宅を出発し、配信が始まる9時までに富士宮口の5合目標高約2400m（ここまでは車で上がってこれます）で待ち構えて挨拶したら帰ろうという予定でした。

家を出て順調に富士宮口に8時45分に到着、石川さんがどこかで配信をしているだろうと辺りを探しても見当たらずおかしいなと、ツイキャスのアプリを観たら石川さんはすでに6合目付近にいらつこと。

ちなみにこの時の格好は着物に雪駄。

まわりにいる外国人はもちろん日本

人までもが「なんだこいつら」という目。

富士山の案内をしている人に6合目まで登ったらどれくらいですか？と聞いたところ20分ぐらいだよと教えてもらいました。また6合目まで今の格好で行っても良いですかとも質問。案内の方は6合目なら大丈夫ですよ、と笑顔で答えてくださったのですが石川さんのつもりはなかったのですが石川さんのもとに急遽登山決定。

登る時には映像で講習を受けなきゃいけないこともこの時知り、いざ6合目に向かう時に雪駄は危ないから靴履いてねとのご指摘。

そりゃそうだ雪駄で登るバカなんかない。

靴を履いて満を持して意気揚々と登りはじめて3分後すごい息があらくなる。

それもそのはずです。標高2400mなんて普段からいたことないし酸素も薄い。早くも体力的な限界が…。

しかし、なるべく早く登らないと石川さんは今いる場所からスタートしてしまう。

急がなくては。

走れメロスの気持ちはこんな感じなんだと思いつながら重い足を上げるのでした。

netkeiba プレゼンツ 林家希林とメシ馬の  
「馬並みな話ではございますが」

毎週土曜日 18:30より放送中!

インターエフエム [89.7MHz TOKYO]

<https://www.interfm.co.jp/umanami>

林家希林とかしめ・洋平の今夜は話さナイト

出演 林家希林、立川かしめ、大西洋平

毎週土曜日 24:30 ~ 25:00

K-mix (静岡 FM) で好評放送中!

radiko プレミアムにご登録いただくと生放送にてお聴きいただけます。静岡エリアの方はradikoにて一週間タイムフリーでいつでも!

## profile

1989年東京浅草生まれ。父は元大関・清國勝雄。

2009年林家木久扇に入門

2013年二ツ目昇進。

2023年9月下旬より真打昇進。林家木りんから「希林」に改名。身長192cmと、落語協会一の高身長!

趣味は相撲、野球、読書、競馬、マラソン、空港見学。

空港についてエッセイ、コラムを書くほどの空港マニア。

初の著書『師匠!』発売中

